

公共図書館における デイジー図書の事例発表



新宿区立戸山図書館

矢部 剛

1

新宿区立戸山図書館

- ・昭和55年に都営団地内の区立生涯学習会館の2階に設置された
- ・所蔵資料数 10.5万点(区立4番目)
- ・戸山2丁目 高齢化率 54.37%(令和5年8月)
⇒「高齢者」が“くらし”、障害者が“つどう”町

戸山図書館は

町のみんで「つどい」「まなび」「楽しむ」図書館

を目指しています

2

① 戸山図書館で取り組んでいる主な障害者サービス

◆新宿区立図書館(11館)の中の障害者サービス拠点館

1) 直接的な活動

- ・DAISY製作、提供・声の図書館だより発行・福祉機器の紹介
- ・福祉作業所見学会

2) 障害者理解が進む活動

- ・セミナー開催(学習障害、知的障害)
- ・視覚障害者のくらしと盲導犬
- ・バリアフリー映画会

3) 障害者と共に行う活動

- ・こうばこの会による朗読会・新宿区YouTube配信

3

② 特別支援学校(幼、小、中、高)・学級(小、中、高)対応障害種別在籍者数(人)

	特別支援学校	特別支援学級	合計
視覚障害(弱視)	4,775	631	5,406
聴覚障害(難聴)	7,651	1,931	9,582
知的障害	134,962	146,946	281,908
肢体不自由	30,456	4,653	35,109
病弱・身体虚弱	18,896	4,618	23,514
合計	196,740	158,779	355,519

出典:文部科学省 特別支援教育の現状 令和3年度特別支援教育資料 第1部データ編
(https://www.mext.go.jp/content/20221206-mxt_tokubetu02-000026303_2.pdf)

※支援学級は他に、言語障害(1,355人)、自閉症・情緒障害(166,323人)がある。

4

③ 日本の障害者数

	18歳未満	18歳以上	不明	合計
身体障害	7.2万人	419.5万人	9.3万人	436.0万人
知的障害	22.5万人	85.1万人	1.8万人	109.4万人
精神障害	27.6万人	391.6万人	0.7万人	419.3万人
合計	57.3万人	896.2万人	11.8万人	964.7万人

出典：厚生労働省 令和4年度障害者白書資料編 制度の概要及び基礎統計
(<https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/21-2/kousei-data/siryou/sh0900.html>)

⇒ 18歳未満と以上の人数差

身体障害=約58倍 知的障害=約4倍 精神障害=約14倍

5

④ 特別支援学校の先生の心配ごと

- ・在学中は授業中や図書館で読書ができるけど・・・
- ・マルチメディアDAISYも楽しむことができるけど・・・
- ⇒ 卒業後の余暇活動は？ 読書環境は？ 誰が担うの？



6

⑤ 新宿区立新宿福祉作業所 図書館利用の記録(全て館内整理日・休館日に実施)

回数	日程	マルチメディアDAISY	その他/LLブックは毎回用意
1	3.16	おにぎりおむすび	読み聞かせ(つかれたときによむ絵本)
2	4.20	てんてん	工場見学の図鑑
3	5.18	パパンがパン	乗り物の本
4	6.15	つるつる	16ミリフィルムアニメ、アフリカ記録映画/動物の本
5	7.20	なにをたべたでしょう 海の中をのぞいてみよう1	16ミリフィルム、からすのぱんやさん/パンの本
6	8.17	海の中をのぞいてみよう3 おにぎりおむすび	16ミリフィルム、ともだちや/画像クイズ(カレー) おにぎりやカレーの本
7	9.21	どろぼうがっこう、まさか	読み聞かせ(ひっこしはバスにのって)

※6月~9月は図書館が施設へ訪問

※読み聞かせはプロジェクターで絵を大写しにして実施

7

⑥ 各回の記録

回数	日程	所感
1	3.16	慣れない環境、スタッフに対して緊張している印象を受ける。読み聞かせ、DAISY共に無反応な方が多く不安。絵本は短いセンテンスが多いため、言葉を反復しながら聞く方や、傾眠される方もいた。男性2名はCDコーナーに興味を示し、関心がある物を数枚集めて見せ合っていた。
2	4.20	2度目で図書館の雰囲気慣れた様子。クイズに積極的に応える姿が増える。工場見学が人気と聞いたので、その本を用意するがあまり関心は示されず。作業所職員が1対1でアンパンマンの絵本を読み書かせている。10分以上の集中力は続かず、クイズ終了後は館内を自由に見て回る方が多い。終了後、2名の方のご家族が来館し利用登録を申し込み。
3	5.18	笑顔と大きな声で挨拶をしてくれる。作業所はパンメーカーでもあり、パンの名前を答えるクイズは、多くの方が進んで答えを出し、拍手や笑いに包まれる。乗り物好きという男性はバスの写真集にくぎ付け、今回も作業所職員に読み聞かせをして貰った女性はともに去りがたく、今度はヘルパーさんと来ようね!と説得されていた。

8

⑦ 各回の記録

回数	日程	所感
4	6.15	6～9月は利用者の体調管理を考え、図書館が作業所に出張する。散歩に参加しない、初めての方も数人。16ミリフィルムの短編映画を上映。動きのある動物の記録映画には集中し、用意した動物図鑑を読む姿が多かった。わいわい文庫「つるつる」はみんな楽しそうに答えていた。
5	7.20	パンをテーマに16ミリフィルム映画は「カラスのぱんやさん」を上映。集中力がなくなっても歌のシーンには画面に注目していた。パンに関する本を用意、いつも以上に本を読む姿が多かった。終了後、握手を求めてくる人もいた。
6	8.17	「クイズも用意しています」に拍手と歓声。大きな声で答える人、周囲の仲良しと答えを出し合う人、「ハ～イ、ハ～イ」と手を挙げるだけの人など、それぞれのリズムで楽しんでいる様子。モザイクがかかったカレーの具材を当てるクイズを実施。終了後は写真が多いカレーの本が一番人気だった。
7	9.21	わいわい文庫「どろぼうがっこう」は主人公の先生の独特なセリフ回しに笑いが起こる。「ハイ」という生徒の声と一緒に返事をする人もいた。クイズは写真物からイラスト物に変更。子どもっぽくなるので心配だったが、いつもと同じで楽しんで貰えた。最初は無関心だった人も、みんなが読んでいるので、だんだんと読み始める。

新宿福祉作業所でのマルチメディアDAISY閲覧の様子(2023.8.17)

⑧ 新宿福祉作業所の見学会について

- ・きっかけ
⇒新宿区社会福祉協議会の紹介
- ・目的
⇒まずは図書館内の様子を知ってもらおう
- ・考慮が必要な点
⇒開館日は団体での利用は困難=月に1度の館内整理日
個性が豊かであり、施設職員との協力が必要
- ・継続の効果
⇒場や人になれるために時間が必要な人が多く、続けることが重要



マルチメディアDAISYは絵本以上に見やすく、
一時停止、再生など参加者の状態に合わせてコントロールできる

⑨ 新宿福祉作業所の見学会で感じられた効果

- ・利用登録があった
- ・作業所が利用登録しDVDの利用につながり、
図書館資料を楽しんで貰うことが増えた
- ・仲間の読む姿に感化され、
用意した紙の本を読む姿がだんだんと増えている
- ・施設職員が絵本の読み聞かせや
本を薦めるなど一緒に読書を楽しむ姿が増えている